

ル事トニ本會合ニ於テハ保留スル事トナル

(四) 自動車部

八月二十六日午後一時新宿營業所内ニ於テ部會ヲ開催對策協  
議ノ結果本部ノ統制下ニ反對斗争ヲ起ス事基金ハ本部通過通  
リ徴收スル事及局案ノ発表ハ本月三日頃ナルヘク從ツテ其レ  
迄ニ各支部役員ノ總改選ヲテニ新陣容ヲ以テ斗争ニ臨ム事等ヲ  
決定ス

(六) 各支部一概狀勢

東ルハハ局更生案ハ從來ニ見サル程大ナルモノナル事ヲ予想  
シ反對斗争準備ヲ急速ニ進メツ、アリテ漸次斗争熱昂揚セシ  
シツツアル狀勢ニアリ

右及申(通)報候也

別記

通達

八月二十六日

東京交通労働組合本部 印

本部中

一、斗争基金積立に關して  
電氣局の第一の更生案に依りサレバ又改善に對しては、我々全従業員は全力を  
挙げて協力して来た。しかるに当局は第一更生案實施後に於ける収入が平期  
に反し、電車収入に於て相變らず減收の一途を辿り、本年度又百二十万圓以上  
の赤字は動かすべからざる情勢に立至りや山下局長は又々此の赤字と更に電氣  
局の資本家の経営の基礎を強化するため、先月來極度の間に経費の大削減に  
おのずかの根本的整理を企圖したのである。來月來の内容は如何なる得否かが従  
業の職首と手當の削減撤減下等による大彈圧案であり、特に賃下げに重大  
な置き與款二百五十万圓以上を彈圧に於て捻出せんとするものがある。聞  
かざる。

斯かる彈圧案が我々に如何に影響を及ぼすかは云い過ぎないことであり、既に昭  
和四年以來数度の彈圧に依りて生活が脅威せられた我々は、今度の大彈圧は今や案の作  
つて生活は根底より破壊せられたのである。しかも此の大彈圧は今や案の作  
を終り極めて最近の間に発表するところであり電氣局は秘密裡に着々と案議に  
對する準備を進めてゐる。  
斯かる緊迫せし情勢に對して本部は緊急対策を練り、來月二十六日午後五時半  
より本部に於て中央委員會を開催するものと決定し、後日書送書、斗争組織  
基金積立、宣傳等に關して協賛し、以て本部の決定したる見解に斗争の一步を  
踏み出したのである。今度の彈圧案が全従業員に及ぼす重大問題である限  
り我々は死守して闘じて、我々の権利をなげなげに文部に於て即時一切の斗争準備を  
せらるべし。